

授業科目	日本語表現法				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NT10510J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	戸田 由美							
授業概要	<p>1、自分の気持ちを素直に表現できるように</p> <p>2、早く簡潔にまとめられるように</p> <p>3、魅力的に話すことができるように</p> <p>以上1～3がうまくできるための、コツをお教えいたします。</p> <p>コツを習得すれば、必ず上手になります。</p> <p>その対策として、15回の講義を系統立てて学習していきます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1、ことばの大切さを自覚し、日本語をとおして日本文化についても認識を深めることができる。</p> <p>2、コミュニケーションが円滑になり、視野が広がり、ものの見方に幅ができる。</p> <p>3、＜読む・聴く・書く・話す＞能力が向上し、文章の書き方、話し方等々の基礎を習得することができる。</p> <p>4、磨きのかかった表現をものにして、魅力的な女性へと変身することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	20	30	100	
知識・理解 (DP1-1)			30		20	20	70	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			20			10	30	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
＜読む・聴く・話す・書く＞という全ての分野において、縦横無尽に表現できるようになること。				正しい日本語を用いて自分自身の考えをまとめる力があること。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	日本語と＜お米＞の関係について… なぜ日本語というものが生まれたのか。			講義		復習		20

2	『普通の文の書き方』について(1) 簡単そうでむずかしい「具体的」について実例を挙げながら検討する。	講義	復習	20
3	『普通の文の書き方』について(2) 文のねじれ・語順・句読点・文章の組み立てなどを考察しながら、わかりやすい表現を習得する。	講義	復習	20
4	「就職のための小論文の書き方のコツ」(1) ジャンル別にテーマを定めて、論ずるための構成法を習得する。	講義	復習	20
5	「就職のための小論文の書き方のコツ」(2) 同上に加えて、論文と作文の相違を考え、実際に書いてみる。	講義	復習	20
6	あなたは敬語に自信がありますか？(1) 間違いやすい敬語の例を挙げ、訂正検討する。	講義	復習	20
7	あなたは敬語に自信がありますか？(2) 同上に加えて、敬語が日本に発生した歴史的ルーツを説く。	講義	復習	20
8	若者ことば・接客ことばなど間違いやすい日本語表現を見直す。	講義	復習	20
9	会話の達人になるには(1) テーマを定めてグループ討議した内容を代表者がまとめてスピーチする。	講義	復習	20
10	会話の達人になるには(2) 自己紹介スピーチコンテストをする。	講義	復習	20
11	就職の面接の予行演習 気をつけるべき点を解説する。	講義	復習	20
12	履歴書の書き方をまなぶ。 自分自身をどのようにPRするのか、 アピールの仕方を研究する。	講義	復習	20
13	手紙を書こう 実際に書いてみる。そして手紙の形式に表われているところにふれてみよう。	講義	復習	20
14	素敵な言葉を見出そう	講義	復習	20
15	まとめ	講義	復習	20
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	わからない言葉にであったときには、必ず辞書で調べましょう。 活字に親しむことが一番です。			
テキスト	使用しません。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中、必要に応じてプリントを配布いたします。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義中理解できなかったところは、必ず、質問してください。			
達成度評価に関するコメント	最後に提出するレポート、講義中の態度等を「その他」として総合点によって成績をつけますので、まずは無遅刻、無欠席であること。			

